

平成 23 年度  
那霸市若狭公民館  
事業報告



## II 平成23年度若狭公民館事業 目次

<b>1 学習風景（写真）</b>	3
<b>2 成人一般対象事業</b>	
〔1〕市民講座	
◇コウサカワタル「伝えたいコト/伝わる表現」	4
◇若狭の昔むかし	5
〔2〕成人講座	
◇防災基礎講座	6
◇若狭地域の自主防災組織づくり	7
◇ジブンよ、かれ。	8
◇復帰あの頃を知る「復帰闘争と反復帰論」	9
◇復帰あの頃を知る「写真で知る！激動の時代」	10
◇復帰あの頃を知る「ニュース映像で振り返る 激動の時代」	11
<b>3 高齢者対象事業</b>	
〔1〕高齢者学級	
◇テレビが変わる！	12
<b>4 青少年対象事業</b>	
〔1〕少年教室	
◇夏のトム・ソーヤとハックルベリー・フィン～風力で動くもの～	13
◇冬のトム・ソーヤとハックルベリー・フィン～ピザ焼いて、パン焼いて、みんなで遊ぼう	14
〔2〕青年のための講座・交流事業	
◇わかさTV～番組をつくろう～	15
◇remoscope in 若狭公民館	16
◇ゆいまーるロード from 那覇	17
〔3〕那覇市子ども教室推進事業	
◇若狭ちむどんどん太鼓	18
<b>5 家庭教育事業</b>	
〔1〕家庭教育学級	
◇シングルママパパコレクション！	19
◇地域で子育て～“ちょっと気になる子ども”について知ろう	20
〔2〕乳幼児学級	
◇Happyママ・キッズクラブ	21
<b>6 その他事業</b>	
〔1〕地域連携事業	
◇第15回若狭地域文化祭	22
◇前島小学童「巨大シャボン玉づくり」	23
◇CGG年末美化清掃プラスONE	24
◇新春もちつき大会	25
◇100人でだるまさんがころんだ ファイナル！	26
◇第17回ナイトウォーク	27
〔2〕地域学習支援事業	
◇ひな祭りお茶会	28
◇平等と自立を手に入れるために～シングルマザー 母と子・女性の人権を知る～	29
<b>7 公民館まつり</b>	30, 31

## 1 学習風景



☆成人講座  
「若狭地域の自主防災づくり」



☆成人講座  
「若狭の昔むかし」



☆高齢者学級  
「テレビが変わる」



☆少年教室  
「夏のトム・ソーヤとハックル・バーリーfinへ風力で動くもの～」



☆地域連携事業  
「第 15 回若狭地域文化祭」



☆乳幼児学級  
「Happy ママ キッズ クラブ」

## 2 成人一般対象事業

### [1] 市民講座

#### コウサカワタル「伝えたいコト／伝わる表現」

趣 旨：琉球王朝時代以前の沖縄の姿をオーストロネシア文化から探ると同時に、エレクトロニクス（電子工学）を用いて『現代沖縄音楽』を作曲・演奏するコウサカワタルさんの表現活動を通して、沖縄文化の流れと世界とのつながりについて再考する機会を得る。また、オランダの映画祭「CAMERA JAPAN」に出演したパフォーマンスの再演と講話を通して、表現の発露となる“思い”を相手（鑑賞者）に伝えるための創意工夫について知る。

日 時：平成23年11月7日（月）19：00～21：00

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受 講 料：無料

参加者数：18名

講 師：コウサカワタル

内 容：オランダの映画祭「CAMERA JAPAN」でのパフォーマンスを再演。

音楽を通して表現したいこと、様々な楽器から感じることなどをお話しいただいた後、質疑応答。



(参加者の声)

・素敵な音楽とコウサカさんの世界観がみごとでした。小さな空間で程よい人数で堪能することができたのは贅沢だったと思います。

・音楽と映像、それに前半のテキストが一体となり表面的でなく伝わる場を体験させていただきました。

(まとめ)

三線を中心にサロッド（インドの弦楽器）やベトナムの一弦琴、口琴、鼻笛などを駆使して奏でる『現代沖縄音楽』に聴き入ると同時に、沖縄に寄りそい表現活動を行うコウサカワタルさんの演奏と講話を通して、沖縄文化の有り様や政治的な状況について考える場となった。参加者の講座に対しての満足度も高く、終了後も講師と意見交換を行う方も多くいた。

## 若狭の昔むかし

趣 旨：若狭公民館周辺の地域も、日々変化のする中にある。戦前という古い昔からは当然として、公民館開館後の20年間にあっても様々な変化がある。本講座では、古い昔から近い昔まで、多くの視点から地域の変化を知る講座として実施する。

期 間：平成23年11月11日（金）・11月20日（日）全2回

時 間：19:00～21:00（第1回） 10:00～12:00（第2回）

場 所：若狭公民館3階ホール（第1回） 若狭公民館周辺（若狭、松山、辻）地域（第2回）

対 象：那覇市内に在住、在勤の方で、2回連続で受講可能な方

受 講 料：無料（第2回は保険料実費100円を別途徴収）

定 員：（第1回）50名 （第2回）20名（第2回は第1回会場で先着順受付け）

参加人数：（第1回）57人 （第2回）28名

### 学習プログラム：

回	日にち	講 師	内 容
1	11月11日（水）	島袋 文雄 (「泊前島今昔物語」著者、 那覇市市政功労者)	「若狭町村今昔物語」（講話） 講師が若狭公民館社会教育指導員として、以前行なった講座「若狭町古地図」の成果をもとに、自身の体験的な戦前の若狭町の様子についてお話をいただいた。
2	11月20日（日）	古塚 達朗 (那覇市教育委員会 文化財課 課長)	「若狭町の拝所を20年ぶりに歩く」（野外学習） 講師は、20年前に若狭の婦人会に招かれて地域の拝所に関する講座に行なった。その際の成果をもとに、20年が経ち地域が変化する中で、若狭の拝所や文化財の現状について学習した。



（左）島袋講師の講話／（中）古地図模型を興味深く見る参加者／（右）古塚講師による野外学習

### （参加者の声）

- ・2年前から若狭で暮らしていますが、S19年当時のことや講師島袋様の想い出話を聞くことができて、本当によかったです。
- ・思ったより寒い日、みんなで学びながら歩いて、あたたまっていろいろ学べて本当に良かった。

### （まとめ）

両日とも、これまでに公民館や地域が行なった学習の成果を基にした講座であり、これまでの成果を生かして引き継ぐ講座を、多様な世代に向けて発信できたと考えている。

## 〔2〕成人講座

### 防災基礎講座

趣 旨：東日本大震災以後の防災意識の高まりに対する、情報提供を趣旨とします。那覇市行政情報、県内外の社会福祉団体や地域の取り組みについて講話と意見交換を行います。

基礎情報の周知により、地域活動に対し主体的な人材が増えることを目的とします。

日 時：平成23年7月6日（水）19：00～21：30

場 所：若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市在住、在勤、在学の方

受講料：無料

募集人数：40名

参加人数：計39名（申込者数50名）

	内 容	講 師
午後7～8時	災害時の避難場所の条件など、行政基礎情報に関する講話。	金城 博之、高良 那覇市市民防災課
午後8～9時	災害が特別のことではなく、日常の延長で発生することや、実際に被害が発生した際に役立った事例報告。	稻垣 晓 沖縄大学地域研究所
～午後9時半	意見交換会(希望する受講生対象)	



(受講生の声)

- ・今日は、たくさんの学びがありました。”地域”という身近な場所での防災を考える事の重要性を改めて実感しました。とても良い講座だったと思います。ありがとうございました。
- ・地震、津波に対しての考え方方が強くなった。そしてコミュニティーの大切さを感じた。同じマンションのオバーもつれて逃げるように日頃から話し合っておこうと思う。（足が悪くて太っている。）若者（学生）も巻き込んで地域のコミュニティーをつくる必要性を感じる。
- ・非常時の対応は行政としてはまだ甘い。講座の回数を増やしてほしい。非常用警報（船舶等使用すればコストは掛からない）。
- ・行政は、たよりにできないことを痛感した。やることが悠長。市民を守るために強いリーダーシップを發揮してホテル等に協力させることが大切である。市の説明は資料を見ればわかる。
- ・防災避難訓練も大事だが、日頃から防災教育をカリキュラムに位置づけて授業を展開してほしい。若狭小の校長にお願いしたい。
- ・今日の講座はわかりやすくて大変良かった。6時半頃から始めて後半ももっと質疑応答の時間ががあればよかったです。

## 若狭地域の自主防災組織づくり

趣 旨：東日本大震災以後の防災意識の高まりに対する、情報提供を趣旨とします。

日 時：平成23年7月8日（金）18:00～21:00

7月9日（土）9:00～11:30

場 所：若狭公民館 第1研修室、屋外

対 象：若狭一、二、三丁目、若狭めおと、前島三丁目の各自治会から役員含め5名程

受講料：1人あたり100円（保険料金込み）

募集人数：30名程

参加人数：8日24名、9日12名 計36名

	内 容	講 師
7月8日（金） 午後6時～午後9時	1.自主防災組織について • 若狭地域の危険箇所と現状 • 設置の目的、活動について 2.災害ボランティアセンター支援業務から見えた地域づくりの課題 3.若狭地域における避難経路等について（図上確認）	金城 博之 那霸市市民防災室
7月9日（土） 午前9～午前11時半	1.避難経路および地域の危険箇所の確認まち歩き 2.若狭まち歩きの情報でマップづくり 3.今後の取り組みについて	高野 大秋 那霸市社会福祉協議会

1日目：講師の講話の後、質疑。各自治会でテーブルを囲み、ゼンリン地図で避難経路、5階以上の建物、危険箇所の記入。



2日目：各自治会で集合し、作成した地図を手に実際に歩く。実際に行ってみると、違っていたこと気づくことがあった。



公民館で地図を修正。講師と意見交換をし、今後出来ることを発表



（受講生の声）

- ・自治会の中で組織づくりを考えさせる指導をお願いします。
- ・座学の研修を発展させて外での地域廻りができて大変良かった。防災に关心を持たすにはどうすればよいか困っています。

## ジブンよ、かれ。

趣 旨：現代の社会で、特に女性には日常生活の中で突然振りかかる多くの暴力が存在する。少林寺拳法を通じて護身術を知り、実際に身を守る方法を学ぶ。

期 間：平成23年11月20日（日）全1回

時 間：14:00～16:00

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：那覇市内に在住、在勤、在学の18歳以上の方

受講料：無料（保険料実費100円を別途徴収）

定 員：20人（定員を上回った場合抽選）

申込人数：11人 参加人数：9人

共 催：しんぐるまざあず・ふおーらむ沖縄、おきなわCAPセンター

### 学習プログラム：

回	日にち	講 師	内 容
1	11月20日（日）	島袋 容子 (沖縄県少林寺拳法連盟理事) 他、助手1名	ココロとからだの護身術（実地講習）  少林寺拳法を基に、初心者でも可能な護身術の技法を学んだ。あらゆる場面、角度から襲われた場合に対処する方法や手段を、実際に体を動かしながら学んだ。同時に、実際に襲われた際に生じる心理面の問題とその対処法についても、実践を通じて学習した。



(左) 説明する島袋講師／(中) 足を使った護身術の実技／(右) 全員で説明を受けながら実習する

### (参加者の声)

- ・体のしくみや心理をうまく利用して身を守る護身術を学び、とても勉強になりました。
- ・今日はありがとうございました。資料もゆっくり読んでみます！

### (まとめ)

家庭教育学級「シングルママパパコレクション！」第3回と対応する内容の講座として実施した。参加者からの質問にも的確に、かつ論理的な方法で答える実技を行なう講師が、非常に好評だった。

## =復帰あの頃を知る=「復帰闘争と反復帰論」

趣 旨：来年の沖縄県本土復帰40周年に向けて、あらためて「復帰」について多角的に学ぶことを目的に、復帰当時を知る様々な立場の方から当時の状況や復帰への思いを聞く。復帰40周年を機に、過去を学び、現状を知ることで、参加者それぞれが沖縄の今後について考える機会とする。

今回は、反復帰論を唱えた川満信一氏に復帰当時の状況と反復帰論の思想、復帰から39年経った現状に対して思いを伺う。

日 時：平成23年12月3日（土）16:00～18:00

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受講料：無料

受講者数：25名

講 師：川満信一（詩人・思想家）

内 容：講話：「復帰闘争と反復帰論」

主 催：那覇市若狭公民館・沖縄県復帰つ子連絡協議会

協 力：OAM（沖縄オルタナティブメディア）



講師の川満信一氏



熱心に話を聴く受講者



興味深い質問が寄せられた

(受講者の声)

- ・とても興味深い講座だった。このような講座を開くという視点はとても注目すべきだと思う。もっと講座を受けて知りたいと思った。
- ・復帰はこれからの沖縄にとても重要な歴史です。まだ体験している人も多く生きています。体系的な記憶の記録が大切だと思う。
- ・非常に勉強になる話だったが、私の知識が追いつかない部分もあった。予習した方がよい本、サイトなどがあれば紹介していただければ助かります。

(まとめ)

復帰当時の県内の社会状況とその時に感じていたこと、どのような理由で「反復帰論」を唱えたのか、またその思想について、復帰を知らない世代にも分かりやすくお話ししていただくことができた。いわゆる「琉球独立論」とは異なる思想であるということも分かり、受講者が「復帰」とはなんだったのか、それは現在の沖縄の社会状況とどのように結びついているのかを考えるよい機会になったように感じる。

受講者からも熱心な質問が多く寄せられ、その質問に丁寧に答えると同時に「100年先に想像力を持ちたい」と、長期的なビジョンで思考し続けることの意義を話されていたのが印象的だった。

今回の講座は、OAM（沖縄オルタナティブメディア）の協力を得て、インターネットによる動画配信および録画を公開することで、直接来場されなかった方や、事後このテーマに关心を持った方とも学びを共有できるようにしている。

## =復帰あの頃を知る=「写真で知る！激動の時代」

趣 旨：沖縄県日本復帰40周年を迎えるにあたり、あらためて「復帰」について多角的に学ぶことを目的に、復帰当時を知る様々な立場の方から当時の状況や復帰への思いを聞く。復帰40周年を機に、過去を学び、現状を知ることで、参加者それぞれが沖縄の今後について考える機会とする。今回は、復帰前後の沖縄の写真スライドショーをみながら、その写真にまつわるお話を伺うことで、激動の社会状況を知ることをねらいとする。

日 時：平成24年2月4日（土）16：00～18：00

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受 講 料：無料

受講者数：47名

講 師：山城博明（報道カメラマン）

内 容：写真スライドショーと講話

主 催：那覇市若狭公民館・沖縄県復帰つ子連絡協議会 協 力：OAM（沖縄オルタナティブメディア）



講座の様子(上)／写真を説明する講師(左下)／質問する受講者(右下)

スライドショーで上映した画像

### (受講者の声)

- ・復帰のことを知ることは、今後の沖縄を考えるにあたり重要だと思う。今後も続けてほしい。
- ・講師のお話をとても興味深く拝聴しました。一回きりではなく、数年に一度、追加公演ならぬ追加講座があるといいですね。
- ・とても勉強になりました。自分のスタンスをつらぬいていけるような生き方ができたらと思います。私のように若い世代も参加でき、一緒に昔を振り返られる講座は素晴らしいと思いました。また次回も楽しみにしています。

### (まとめ)

公民館と共に開催する以前の勉強会を含めると「復帰あの頃を知る」シリーズは4回目となる。これまでには「復帰」推進の立場や反復帰論など、立場の異なる方々に「復帰」に向かう時代のなかで何を感じどのように思考したかを伺ってきた。今回は、より客観的な立場で記録し続けてきた報道カメラマンに当時の写真を見せていただくことで激動の時代状況を知ることができた。受講者は20代～70代と幅広く、今後も「復帰」をテーマにした講座を継続してほしいとの声が多くあった。講座で上映した写真のスライドショーや講座の様子をインターネットで発信、共有したことにより講座修了後も反応が寄せられている。

## =復帰あの頃を知る=「ニュース映像で振り返る 復帰40年」

趣 旨：沖縄県日本復帰40周年を迎え、あらためて「復帰」について多角的に学ぶことを目的に、復帰当時を知る様々な立場の方から当時の状況や復帰への思いを聞く。復帰40周年を機に、過去を学び、現状を知ることで、参加者それぞれが沖縄の今後について考える機会とする。復帰当時から報道カメラマンとして活躍したほか、米軍などが撮影した戦後沖縄の映像の収集・整理にも尽力されている講師を招き、復帰以前の沖縄の生活や風俗について知る。

日 時：平成24年3月18日（日）16:00～18:00

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受 講 料：無料

受講者数：32名

講 師：新里勝彦（元琉球放送カメラマン）

内 容：過去のニュース映像上映と講話

主 催：那覇市若狭公民館・沖縄県復帰つ子連絡協議会

協 力：OAM（沖縄オルタナティブメディア）



講座の様子／復帰前後に使用していたTVカメラを持つ講師／米国民政府制作の「琉球ニュース」



ニュース映像に見る受講者



質問を寄せる受講者

(受講者の声)

- ・琉球ニュースの映像がすごかった。ロデオショーやジェーン・フォンダなどの貴重な映像を見ることがで  
きて嬉しかったです。
- ・新里さんのお話はリアルでとてもおもしろかったです。次回もぜひまた受講したいです。

(まとめ)

今回の講座では、復帰以前の「アメリカ世」の映像、特に米国民政府制作の「琉球ニュース」を中心に見  
せていただいた。米軍への反感が高まるなかで沖縄の人の人心をつかむため「琉米親善」を全面に出したプロパガンダニュースだが、そこに映っている人々はイキイキしており、当時の社会状況も含めて様々な情報  
が読み取ることができる貴重な資料となっている。ほかにも、講師が撮影されたジェーン・フォンダ来沖時の  
映像や屋良朝苗インタビューなど貴重な映像を当時のエピソードを交えながらお話をいただいた。

「復帰」への気運が高まる前に沖縄の状況を知ることができたのは、今後「復帰」をテーマとした講座を  
続けていく上でも意義深い講座となった。

### 3 高齢者対象事業

#### [1] 高齢者学級

##### テレビが変わる！

趣 旨：本年の7月21日より行われる地デジ化など、テレビを取り巻く技術・状況は大きく変化している。高齢者が、現在のテレビのおかれている状況を知り、テレビの技術や地デジについての理解を深める目的で、実施する。

期 間：平成23年5月25日（水）・5月31日（火） 全2回

時 間：10:00～12:00

場 所：（第1回）若狭公民館第1研修室・（第2回）沖縄テレビ放送株式会社

対 象：那覇市内に在住、在勤の60歳以上で、2回連続で受講可能な方

受 講 料：無料（保険料実費100円を別途徴収）

定 員：20人（定員を上回った場合抽選）

申込人数：24人 参加延べ人数：33人

協 力：沖縄テレビ放送株式会社（施設内見学）

なお、本事業は情報通信月間参加行事であり、実施にあたって事業費の一部に援助金を申請している。

学習プログラム：

回	日にち	講 師	内 容
1	5月25日（水）	津幡 岳弘 (総務省沖縄総合通信事務所)	地デジを知ろう（講話） デジサポ沖縄の協力により相談も実施した
2	5月31日（水）	(沖縄テレビ担当者)	テレビの今を知ろう（放送局施設見学）



（左）津幡講師の講話／（中）テレビ放送について説明を受ける／（右）テレビ局内のスタジオを見学

（参加者の声）

- ・講座をきっかけに、近所の住民が地デジ化をまだ済ましていない家であった事がわかり、教えてあげることができた。
- ・テレビ局の見学は貴重な機会であり、良かった。

（まとめ）

地デジ化にあたる注意点の説明を受け、既に地デジ化を済ませている世帯でも注意すべきことあるなど、地域における啓発につながった。また職員が総務省沖縄総合通信事務所より地デジボランティアの委嘱を受け公民館で基礎的な相談に応じる体制を構築し、実際に数件の相談あったことは、地域のニーズに即した講座を実施できたと考える。

## 4 青少年対象事業

### [1] 少年教室

#### 夏のトム・ソーヤとハックルベリー・フィン

～風力で動くもの～

趣旨：身近な素材で子どもたちが自分の力で地域を作る意識が芽生えること。人と技術と地域が繋がることを趣旨とします。今年度のテーマは自然のエネルギーで、夏は風力をテーマにします。遊びを通して風力発電の原理を伝えます。ペットボトルと針金を使って電気が作り、シャボン玉製造機を作ります。受講後は自分たちだけで作れる講座内容とします。

日時：平成23年8月20日（土）午前10時～午後3時

場所：若狭公民館ホール、若狭海浜公園

対象：那覇市内の小学生、低学年は親子で申込み。

受講料：1人100円（保険料込）

募集人数：20名（先着順）

参加人数：計33名 18世帯（申込者数41名 21世帯）

内 容		講 師
10:00～10:40 公民館ホール	風力発電に点いて、プロジェクターと小型風車を使用して解説。実際に受講生が手で回して発電を体験しました。	比嘉 直人 (株)沖縄エネテック
10:40～12:30 公民館ホール	ペットボトル(500ml, 2L)、針金、ビニールテープ、カッター、ハサミ、ペンチ等でシャンボンだま製造機づくり。	新田 繁睦 (株)沖縄TL0
12:30～13:20 昼 食（ホール）		
13:20～14:45	大型扇風機を使用し、完成したシャボン玉製造機にシャボン液をいれて、実際に飛ぶか実験。なかなか飛ばない子は、大人がサポート。後半は、ロープ等で巨大ショボン玉づくり。	講師お二人、公民館職員、地域のボランティアスタッフでサポート



#### （受講生の感想）

- ・今回のような理科的な内容は実践（実験）→結果→考察→（改良 etc）があって、能動的な綿も多いので子どもだけでなく大人も一緒に楽しめました。自分の手や頭を使って色々と試してみる機会になってとてもよかったです。講師の皆様、スタッフの皆様、どうもありがとうございました。
- ・作るのがむずかしかったけど、いっぱい教えてもらって楽しかったです。
- ・今日も楽しかったけど、もっと楽しくできるものをやりたいです。
- ・省エネ対策で様々な分野で研究が進められていること とても勉強になりました。
- ・シャボン玉液を替えてまたやってみます。今日はありがとうございました。

## 冬のトム・ソーヤとハックルベリー・フィン

～ピザ焼いて、パン焼いて、みんなであそぼう！～

趣 旨：電気を使わずにピザやパンが焼けること。および、異年齢による集団あそびの楽しさを体得し、講座修了後は自力でもチャレンジし、他の子ども達にも伝えることができることを趣旨とします。

日 時：平成24年1月14日（土）10：00～15：00

場 所：若狭海浜公園

対 象：那覇市内の小学4～6年生

受講料：無料（ただし、食材費、保険料として実費500円徴収）

募集人数：15名（先着順）

参加人数：12名

	内 容	講 師
10:00～11:20	ローテクあそび（マンカラ、ベゴマ）	
11:20～13:00	ピザ生地伸ばし、トッピング、一斗缶ピザ焼き、炭火焼パン、 随時昼食。	山本 隆 学童クラブわんぱく家 主任指導員
13:00～15:00	ローテクあそび（せっちゃん、王様さがし、宝ふみ、鉄コマ）	



職員と地域の方による下準備。

昔あそび「マンカラ」。

ピザ生地のばしてトッピング。



地域の方による炭火起こし。My ピザ出来上がり。焚き火パンに挑戦。午後は遊びのプログラム。

(受講者の声)

- 私は、バカボンさんに教えてもらったマンカラがとても面白いなと思いました。
- みんなでラグビーをしたい。
- みんなでたくさんおよぎたい。

(まとめ)

講師の子ども達に対する「決して強制しない」接し方が印象的でした。市内三つの小学校から子ども達も、ノビノビあそんでも良い雰囲気を肌で感じたと思います。

## 〔2〕青年のための講座・交流事業

### わかさTV ~番組をつくろう~

趣 旨：情報通信技術の発達、メディアの多様化に対し、市民が対応できる知識・情報を得て、ネット動画配信などの技術を楽しみ、活用が可能となる講座を開催する。青年層が、地域の情報を収集し、発信することを通じて、地域の魅力を再発見することをねらいとする。

日 時：平成23年6月15日（水）19:00～21:00  
18日（土）、19日（日）14:00～19:00

場 所：若狭公民館第1研修室、第2研修室、若狭近隣地域

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受 講 料：無料（ただし実費として100円徴収）

定 員：15名 申込者数：21名

講 師：桃原英樹、西脇尚人、新田雅一 協 力：OAM（沖縄オルタナティブメディア）

援 助：情報通信月間推進協議会

内 容：15日 番組づくりとUstream配信について（実践事例紹介）  
18日 オルタナティブメディアの意義と可能性（講話）と番組づくりワークショップ  
19日 地域取材とUstream配信



番組づくりについて実践事例紹介



番組づくりワークショップ



講座の様子をUst配信



地域情報を取材する受講者

Ustream配信画面

The screenshot shows a live video stream from Ustream. The title bar reads "Ustream.tv ユーザー wakasakou: wakasakou ライブ 02:31am PST 06/19/2011 iPhone上で録画された動画 その他". The main content area shows two hosts, a man in a yellow shirt and a woman in a white shirt, sitting at a desk. To the right, there is a sidebar with a thumbnail of the building, the date and time, and community participation statistics. Below the video player, there are links for embed code and URL, and a rating section with five stars.

#### （参加者の声）

- ・番組づくりについて、もっと詳しく学びたかった。実際にUSTREAM配信できたのはよかったです。
- ・よく知っている地域でも講座を通して新たな発見があつて楽しかった。

#### （まとめ）

Ustream初心者からすでに番組を持っている方まで幅広い参加者があったが、全日程参加できない方も多く、それぞれの関心や技術に差があったため、講座進行が難しかった。2回目以降は、参加者それぞれから主体的な意見が出され、それをもとに若狭近隣地域の「気になるもの」を取り扱うことができ、地域の新たな魅力、番組配信の楽しさを知ることができた。機材等のトラブルもあったが、講師の指導により臨機応変に対応し、番組配信することができた。

## remoscope in 若狭公民館

趣 旨：情報通信技術の発達、メディアの多様化に対し、市民が対応できる知識・情報を得て、ネット動画配信などの技術を楽しみ、活用が可能となる講座を開催する。若年層が、地域の情報を収集し、発信することを通じて、地域の魅力を再発見することをねらいとする。

期 間：平成23年7月16日（土）全1回

時 間：13:00～17:00

場 所：若狭公民館第2研修室

対 象：那覇市内に在住、在勤、在学する中学生以上の方

受 講 料：無料（保険料実費100円を別途徴収）

定 員：10人（定員を上回った場合抽選）

申込人数：11人 参加延べ人数：11人

企 画：路地と人

協 力：remo\*TOKYO（NPO法人 remo/記録と表現とメディアのための組織）

なお、本事業は情報通信月間参加行事であり、実施にあたって事業費の一部に援助金を申請している。

### 学習プログラム：

回	日 に ち	講 師	内 容
1	7月16日(土)	藤井 光 (美術家、映像ディレクター)	映像を撮るとは 「remoscope」の手法による映像の撮影 映像の相互鑑賞による共有、作品作り



(左) ビデオカメラの使い方を学ぶ／(中) 街に出て撮影をする参加者／(右) 撮影した映像を集めて鑑賞

### (参加者の声)

- ・とっても楽しかった☆ 公民館できかくでしたしみやすかった。
  - ・映像作品を撮るのは大変なんだと思いました。でも楽しかったです！
  - ・とてもいい講座でした。アピールすればもっと人が集まると思います。
- (まとめ)

「remoscope」という参加しやすい映像制作のワークショップを行った。参加者の中には日頃部活で映像制作を行う高校生も多く、興味を持って参加していた。同時にアンケートでは、講座内容と同時に公民館がこのような手法の講座を行うことへの言及も多く、高校生、大学生などの青年層と公民館をつなぐ契機としても出来た。

## ゆいまーるロード from 那覇

～支えあう命・今 私たちにできること～

趣 旨：2011年3月11日に発生した「東日本大震災」による未曾有の被害に対して、遠く離れた沖縄でも様々な個人・団体・機関が復興への支援を行っている。那覇市の公民館では7館合同で、沖縄のゆいまーる精神で具体的にアクションを起こしている方々をお招きし、被災地の状況や彼らの活動報告をしてもらうと同時に、お互いの思いを話し合うことを通して、それぞれが「今 わたしたちにできること」はなんなのか、行動を起こすにはどうすればいいかを考えるフォーラムを開催する。

日 時：平成23年10月23日（日）13:00～17:00

場 所：牧志駅前ほしざら公民館 ホール・研修室・ロビー

参 加 料：無料

内 容：フォーラム：基調講演（稻垣暁）、活動報告、パネルディスカッション（ホール）

展 示：復興支援活動報告、風の便り、アートNPOエイド、UNITE!NIPPON（研修室、ロビー）

バ ザ ー：HIV人権ネットワーク、あたいぐわープロジェクト、なはまちづくりネット



パネルディスカッション



「アートNPOエイド」映像展示



「UNITTE!NIPPON」プロジェクト



チャリティーバザー出店

（まとめ）

那覇市の公民館7館が合同で企画・運営した「ゆいまーるロード from 那覇」では、東日本大震災の被災者・被災地の支援に取り組む各団体をパネリストにしたフォーラムを中心に、活動報告展示やチャリティーバザーなどを行った。若狭公民館は展示部門を担当し、支援情報紙「風の便り」や被災地での表現の回復に向けた取り組みを行う「アートNPOエイド」、日本の未来を一人ひとりが責任を持って引き受けるための宣言を写真で記録する「UNITTE!NIPPON」プロジェクトのコーディネートを行った。

すでに支援活動を行っている団体及び個人との交流を通して、震災後これまでの社会構造が大きく揺らぎ崩れる中で、震災前の状態に戻す「復興」ではなく、それぞれが責任を持って未来を受け、創造的な社会の実現に向け「自分自身が何をするのか」を考え、積極的に参画する契機になったと感じる。

那覇市の公民館全館が連携・協力することで、それぞれの得意分野を生かした取り組みができた。

## 〔2〕放課後子ども教室

### 若狭ちむどんどん太鼓

趣 旨：放課後の子どもたちの安全・安心な居場所として、公民館で活動することを通して、児童が地域社会の成員として意識し、主体的に地域づくりに参画できる人材となることを目的とする。  
また、エイサーを通して地域の文化・芸能に触れると同時に、各地域行事で披露することで地域連帯意識の強化を促す。

日 時：平成23年4月1日～平成24年3月31日（毎週火・木曜日） 計117回

場 所：若狭公民館 ホール及び第1研修室

対 象：若狭小学校・天妃小学校 児童

登録児童：32名

参加延人数：2,912名

講 師：岸本麗子、東 澄子



毎週火・木曜日の練習の様子



公民館まつりオープニングで司会を担当



新春もちつき大会（上）

クリスマス会（下）

新天地市場でのイベント出演

武雄市少年の船との交流会

#### （参加者の声）

- ・1万人のエイサー やクリスマス会など、いろいろな体験ができる楽しいです。
- ・エイサーを通して友だちがふえました。がんばってもっと上手になりたいです。

#### （まとめ）

放課後の居場所づくりとして、毎週火・木曜日にエイサー練習を行っているほか、地域行事や各種イベントに積極的に参加している。発表の場が増えることで、児童のやる気と向上心が芽生え、練習にも一生懸命取り組むようになっている。また、七夕やクリスマス会など季節の行事を自分たちで企画・提案する場を設けることで、自立心と協調性を養うよう心がけており、異年齢交流のなかで、先輩に対する尊敬と後輩への優しさが身についてきるように感じる。

## 5 家庭教育事業

### [1] 家庭教育学級

#### シングルママパパコレクション！

趣 旨：昨年に引き続き、シングルマザーを対象とした講座を行う。今年度は一部講座対象をシングルファザーにも広げ、シングルマザー・ファザーに対し、生活をより良くし、悩み等を共有できる仲間と出会う場とする。

期間：平成23年10月23日（日）～11月6日（火）全3回

時間：14：00～16：00

場所：若狭公民館（第1回：実習室）（第2、3回：第1研修室）

対象：那覇市内に在住・在勤する、シングルマザー・ファザーの方

受講料：無料（第1回は保険料100円、材料費500円を別途徴収）

定員：（定員を上回った場合抽選）

申込人数：25名（3回延べ） 参加人数：27名（3回延べ）

共催：しんぐるまさあず・ふおーらむ沖縄

学習プログラム：

回	日にち	講師	内容
1	10月23日（日）	玉村真理子 （“Happy Obento”主催）	「ハッピーオベントウライフ！ 一カワイイお弁当を作っちゃお」（調理実習） お弁当を工夫し、見た目が楽しくかわいい、栄養についても考慮したお弁当作りを親子で学習した。下ごしらえや器具の使い方、工夫についても学んだ。
2	10月30日（日）	上原千香子 （株式会社二千年代表）	『生きる力』ほめられる。認められる。自分の居場所がある。」（講話） 自身もシングルマザーとして子育て、企業経理を行なう講師が、体験を伝える講話を行なった。飲食店を経営する講師の話に対して、若い参加者からも活発な質疑応答があった。
3	11月6日（日）	おきなわCAPセンター	「ジブン vs. コドモ ～ヤッパリ ワタシガ エライ!?」（ワークショップ） 子どもの気持ちを知る視点から、子育ての上で子どもとの関係性や、また親自身がプレシャーから解放されて生きるあり方を学んだ。

（参加者の声）

- ・妥協せずに子供を見守っている様子が心に残りました。（第2回）
- ・初めて、受講させていただきました。（第3回）
- ・とてもわかりやすくて、また受講したい講座に参加したいです。（第3回）  
(まとめ)

昨年の引き続き募集の段階で苦しんだが、社会性ある講座を実施できたと考えている。参加者を集めやすい内容、時期への変更を検討し、今後も何らかの形で実施したい。



調理実習前に、説明を行なう講師

## 地域で子育て

### ～“ちょっと気になる子ども”について知ろう～

趣 旨：医療・福祉の現場でも早期に気づくことが難しい発達障害について、正しい知識を得ると同時に障がいを持つ子どもと保護者に対しての理解を深めることで、地域全体で多様な子どもを見守り、一人ひとりを支援するための体制づくりについて考えることを目的とする。

日 時：平成23年12月1日（木）18：00～20：00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方

受 講 料：無料

受講者数：33名

講 師：与那城 郁子（沖縄県発達障害者支援センター「がじゅま～る」／臨床心理士）

内 容：講話：「気になる子どもたちへの支援について」



保護者をはじめ、民生委員児童委員、学校支援ボランティアなどが受講



講師の与那城郁子先生



会場からは熱心な質問が寄せられた



一時託児も用意したので安心して受講することができた

(受講者の声)

・地域の子ども、今まで付き合い続けられなかった友達、振り返ってみると当てはまるかも、と思う。関係を持ち続ける上で、関わり方を少し知ることができたと思う。

・子どもが通う学校で抱えている問題なので、とても役に立ったと思います。まわりの大人も気をつけているのですが、当人の親があまり気づかないようで。講座をふまえ、私自身も考えてみようと思います。

(まとめ)

長所を褒める、指示はより具体的に、予告・先手の対応など、気になる子どもたちに対して、共通した支援のポイントをわかりやすく教えていただくことができた。しかし同時に「子どもたちの特性や生じる問題は一人ひとり異なるので、その関わり方を模索し続けることが大事だ」という言葉が印象的だった。マニュアルがないだけに、具体的な対応例や大人との関わり方についても知りたいという声も多く、今後もこのような講座を開催し、地域全体で理解を深め、支援できる体制をつくる必要をあらためて感じた。

## 〔2〕乳幼児学級

### Happy ママ・キッズ クラブ

趣 旨：～今を大切に・・・成長のステップを楽しもう～ をテーマにふれあい遊びや物作りをとおして 親子の絆を、そして育児の楽しさを倍増させる。また、交流の場を設け情報交換できることを目的とする。

期 間：平成24年1月21日（土）～2月4日（土） 毎週土曜日 全3回

時 間：10：00～12：00

場 所：若狭公民館 和室・実習室

対 象：那覇市在住・在勤で3歳～5歳の子どもを持つ親子

受講料：無料（但し保険料、材料費1,000円は、自己負担）

定 員：親子15組（抽選）

申込人数：12組

参加延べ人数：56人

#### 学習プログラム

回	月日	内容	講師	人数
1	1月21日	のびのび育つコミュニケーション術	比嘉邦子（元幼稚園主任教諭、光史琉太鼓保存会師範）	17人
2	1月28日	アロマで石けん作り	羽地由美（アロマテラピスト）	22人
3	2月4日	英語であそぼう	江島由美（ECC ジュニア 英語教師）	17人



#### （受講者の声）

- 沖縄の歌を生の三線、胡弓の音色で楽しませてもらいました。
- 先生をはじめ皆さんの人柄も良く楽しく笑いのある時間を過ごすことができました。これからはもっと時間をつぶって子どもとふれあっていきたいと思います。
- アロマの香りに癒されて初めて石けんを作りました。子どもと一緒にできていよい思い出になりました。
- 子どもと一緒に、普段とは違う体験ができるとても良かったです。

#### （まとめ）

育児に仕事にと普段慌ただしく過ごしがちな中、とにかくふれあい楽しんでいただこうと親子参加の講座を実施しました。

昔から歌い継がれている沖縄の民謡を、生の伴奏で手遊びふれあい遊びをしてコミュニケーションを図り、また簡単にできるハーブ石けんを粘土遊びする感覚で作りました。～英語であそぼう～では、英語の歌でリトミックや工作をしてゲーム遊びをしました。どの講座も和気あいあいとした雰囲気の中、親子でゆったりとした時間を過ごすことができたと思います。

育児を楽しむためにも、また同世代の情報交換の場としても親子で体験できる講座の必要性を感じました。

## 6 その他事業

### 〔1〕地域連携事業

#### 第15回 若狭地域文化祭

趣 旨：地域特性を活かし地域住民が関係機関・団体と連携・協力して文化的行事を企画実施することで、高齢者から幼児・児童・生徒までの三世代間の交流と地域の連帯意識の強化を柱に、祭りに訪れる県内外の観光客との交流を図り、地域文化を再認識するとともに、新たな文化を掘り起こし発信することにより、青少年の健全育成と豊かで活気に満ちた潤いのある地域を創ることを目的とする。

日 時：平成23年10月29日（土） 14:00～19:00

場 所：若狭海浜公園

参加人数：3,000人

主 催：NPO法人地域サポートわかさ

時間	内 容	時間	内 容
14:00～19:00	舞台発表	14:00～19:00	健康相談（無料）
14:00～19:00	バザー（食べ物、飲み物 他）	14:00～17:00	移動児童館
14:00～19:00	展示コーナー	15:00～16:00	呈茶



#### （まとめ）

第15回を数える若狭地域文化祭は、若狭近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所、ならびに各社会教育関係団体からなる実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営している。舞台発表は、幼児、児童・生徒、地域婦人会、サークル団体などの発表の場となっているほか、旗頭、獅子舞、琉舞道場の演舞もあり、地域の芸能文化に触れることができる。また、昨年から設けている「子どもイベント広場」は、若狭児童館が移動児童館として様々なプログラムを実施しているのをはじめ、ボーイスカウトの協力により竹の遊具を使った遊びが体験できる。このほか、展示ブースや呈茶コーナーなどもあり、文化体験を通して住民同士が交流できる場として根付いている。若狭地域文化祭を通して地域の絆が深まるのを感じる一方で、資金調達などの運営面での課題もある。

## 前島小学校学童「巨大シャボン玉づくり」

趣 旨：前島小学校の児童は久茂地児童館、若狭児童館を利用していたが、久茂地公民館の移転に伴い若狭児童館のみとなり、低学年の子を持つ保護者は、国道58号線の横断等に不安を感じていた。同小学校では保護者有志による「前島学童をつくる会」が結成され、平成24年度4月開設を目標に活動している。秋休みにプレ学童企画が発足し、若狭公民館に相談があり、公民館職員が講師として対応した。こども達に異年齢集団による外遊び体験の提供を趣旨とする。同時に、台所洗剤、砂糖、洗濯糊、針金、ロープなど、身近な材料を工夫することで楽しめる体験を提供し、児童の健全育成に寄与する。

日 時：平成23年11月11日（木）13:00～17:00

場 所：那覇市立前島小学校校庭、幼稚園園庭

対 象：前島小学校1～3年生、前島幼稚園児

受講料：無料

募集人数：30名程

参加人数：30名

内 容	
13:00～13:30	道具類搬入
13:30～14:15	シャボン液を説明しながら、4種類のシャボン液を紹介。
14:00～16:00	30名5チームで、各自のハンガーでシャボン玉づくり。砂糖水、洗濯糊、グリセリン、古いシャボン液（一ヶ月前）4種類のシャボン液で、どれが一番大きいか実験。 竹とロープの道具で、巨大シャボン玉づくり
16:00～17:00	片付け。大雨のため、大人（講師、学童関係者、幼稚園職員 計6名ほど）のみ。



(受講生の声)

- ・もっともっと～～っとおおきなしゃぼん玉がつくりたいです。あしたもきてください。
- ・ちょうど巨大ガリバーみたいな、とっても大きなしゃぼん玉をしてみたいです。
- ・お天気が悪くて心配でしたが、子ども達が嬉しそうに大きな声を出しているのを見て、あたたかい気持ちになりました。今度は、お天気の良い日に今日できなかつたフラフープシャボン玉もやってみたいです。
- ・天気が悪いので心配しましたが、みんな楽しそうに遊んでいて、とても良かったです。普段やっているシャボン玉あそびとは、スケールが違っていたので感動しました。

(まとめ)

[成 果] 4種類のシャボン液を準備して比較させた事で、子ども達も楽しんでくれた。グリセリンが一番効果的であることが分かり、子ども達も材料に興味を持っていた。大きなシャボン玉ができると、子どもも大人も行方を追ってワクワクした。準備、道具の貸し借り、片付けを通して、子ども達、学童関係者、幼稚園の先生で共同作業ができた。

[反省] 大きさだけでなく、数を作れる道具があると盛り上がる事が分かった。雨天のため、場所を運動場から体育館軒下に変更したため、片付けの祭、コンクリートから洗剤を洗い流すのに小雨のなか1時間かかってしまった。

## 若狭クリーン・グリーン・グレイシャス運動

趣 旨：地域の各機関が一丸となって公園清掃し、親睦を通して青少年健全育成を図ることを目的とする。自治会、婦人会、小中高生、PTA 関係者、NPO、公民館利用団体を中心に地域が一丸となって若狭地域にある公園（旭ヶ丘公園・若狭海浜公園・若狭公園）の清掃を実施。また、プラス ONE 活動として、若狭公民館利用団体連絡協議会による豚汁の振舞いなべを食べながら交流会を実施する。

期 日：平成23年12月18日（日）9：00～12：00

場 所：旭ヶ丘公園・若狭海浜公園・若狭公園、若狭公民館

参加者：219人

対 象：保育園・幼稚園・小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA関係者、青年会など

### プログラム

	時 間	内 容		人数
1	9：30～11：00	地域清掃 (若狭海浜・若狭・旭ヶ丘)	オープニング、地域の公園清掃	219人
2	11：00～12：00	シンメーナービー 交流会	シンメーナービーで豚汁・おにぎりを食べながらの交流会 (若狭公民館駐車場)	175人



自治会、NPO 等地域の社会教育団体の他、FC 琉球の選手、ぐしけんくん、琉球ボンバーズも参加。来賓挨拶の後、参加者代表あいさつは、若狭小学校野球部キャプテン。



清掃をしながら世代を超えた交流。

終了後は、利用団体連絡協議会による振舞いなべ。

### （まとめ）

若狭地区の特徴的な取組みと言える、地域が主体となり CGG の呼びかけを行う本事業も第7回目。自治会、学校その他の団体・個人が参加し、地域で利用する若狭海浜公園・若狭公園・旭ヶ丘公園の清掃を実施した。普段、目が届かないところにある飲み物ゴミや粗大ゴミ等を回収・清掃を行なった。

こども地域通貨「ちっぴる」の配布も、CGG では二回目ということで浸透しつつある。FC 琉球、琉球ボンバーズの協力を得ることで華やかな雰囲気もあり、児童生徒の参加もある。清掃後は若狭公民館利用団体協議会が豚汁・おにぎりを振る舞い、参加者で交流を深めることができた。

## 新春 もちつき大会

趣 旨：地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

日 時：平成24年1月7日（土）10：00～12：00

場 所：那覇市若狭公民館玄関前

対 象：地域住民すべて

参加費：無料

参加人数：参加者延べ人数：270名

### プログラム

10:00	オープニング	① あゆみ保育園	子ども獅子舞・マーチング
		② 若狭ちむどんどん太鼓 獅子ゴンゴン・だんじゅかりゆし	
		開会のあいさつ・・・・・・・・・・・・	地域サポートわかさ（早川 忠光 理事長）
		激励のことば・・・・・・・・・・・・	若狭小学校（桃原 廣市 校長）
		館長あいさつ及びつき始め式・・・・・・・・	若狭公民館（平良 恒次 館長）

10:30 つき始め



### （参加者の声）

- ・つきたてのおもちは、温かくておいしかった。
- ・子ども達にもちつきを体験させることができて良かった。
- ・もちつき楽しかったです。おもちがとてもおいしかった。

### （まとめ）

- ・今年は、時おり小雨がちらつくあいにくの天気でしたが、例年同様の参加があり賑やかなもちつきができました。オープニングは、3階ホール・もちつきは、1階ピロティーで行いました。マイ食器持参という事も定着し、ゴミ減量につながりました。

## 100人でだるまさんがころんだ ファイナル！

趣 旨：大型旅客船バース建設をはじめ、ウォーターフロント開発により大きく姿を変える若狭海浜公園で、多世代が楽しめるイベントを20～30代の公民館利用者が主体となり企画・実施する。  
市民一人ひとりが、変わり行く街に対してのビジョンを持つ契機として、遊びを通して場所への思いを深めることを目的とする。

日 時：平成24年3月3日（土）10：30～12：30

場 所：若狭海浜公園 南側（波の上ビーチとなり）

参 加 料：無料 参加者数：150人

主 催：若狭公民館「朝食会」 共 催：那覇市若狭公民館

- 変わりゆく若狭海浜公園。あまり活用されていない野外ステージ周辺で遊ぶことで場所への思いを深める。
- 公民館事業から生まれた「朝食会」メンバーが主体となり企画・運営を行い、公民館は側面支援を行う。
- 「頑張り過ぎない」ことをモットーに参加しやすく、抜けやすい気軽なイベントを目指す。
- みんなが知っている遊びを通して、多世代交流を促す。
- 当日の様子を撮影した「100人だるまさん」映像を、インターネットを通じて世界中に配信する。



### （参加者の声）

- ・楽しかった。この公園がなくなるのはもったいない。また別の場所で楽しいイベントを企画してほしい。
- ・童心にかえって遊ぶことができた。子どもたちのスピードにはついていけなかつたけど、大人対決があつたので盛り上がった。

### （まとめ）

4回目（若狭地域文化祭含めると5回目）となる「100人でだるまさんがころんだ」は、会場の若狭海浜公園南側緑地を駐車場にする工事が着工目前となつたため、今回を「ファイナル！」とした。何度か実施するなかでイベントの知名度が上がってきたことに加え、最終回ということもあり、予定の100名を大幅に上回る150名の参加があった。テレビや新聞、インターネット情報サイトなどでも取り上げていただき、変わりゆく地域の公園にスポットを当て、思い出となる楽しい体験を広い世代で共有するという目的は達成できたように感じる。また、公民館利用者「朝食会」メンバーが中心となって企画運営しているということと、頑張りすぎず、主催者自身が楽しみ、参加者にも主体的に参画してもらう、というコンセプトは、まちづくりや社会教育関係者の関心を集めた。インターネットを使ってイベント告知をするだけではなく、動画配信を取り入れ報告することで事業の周知や意義を浸透することにつながったように感じる。

## 第17回ナイトウォーク

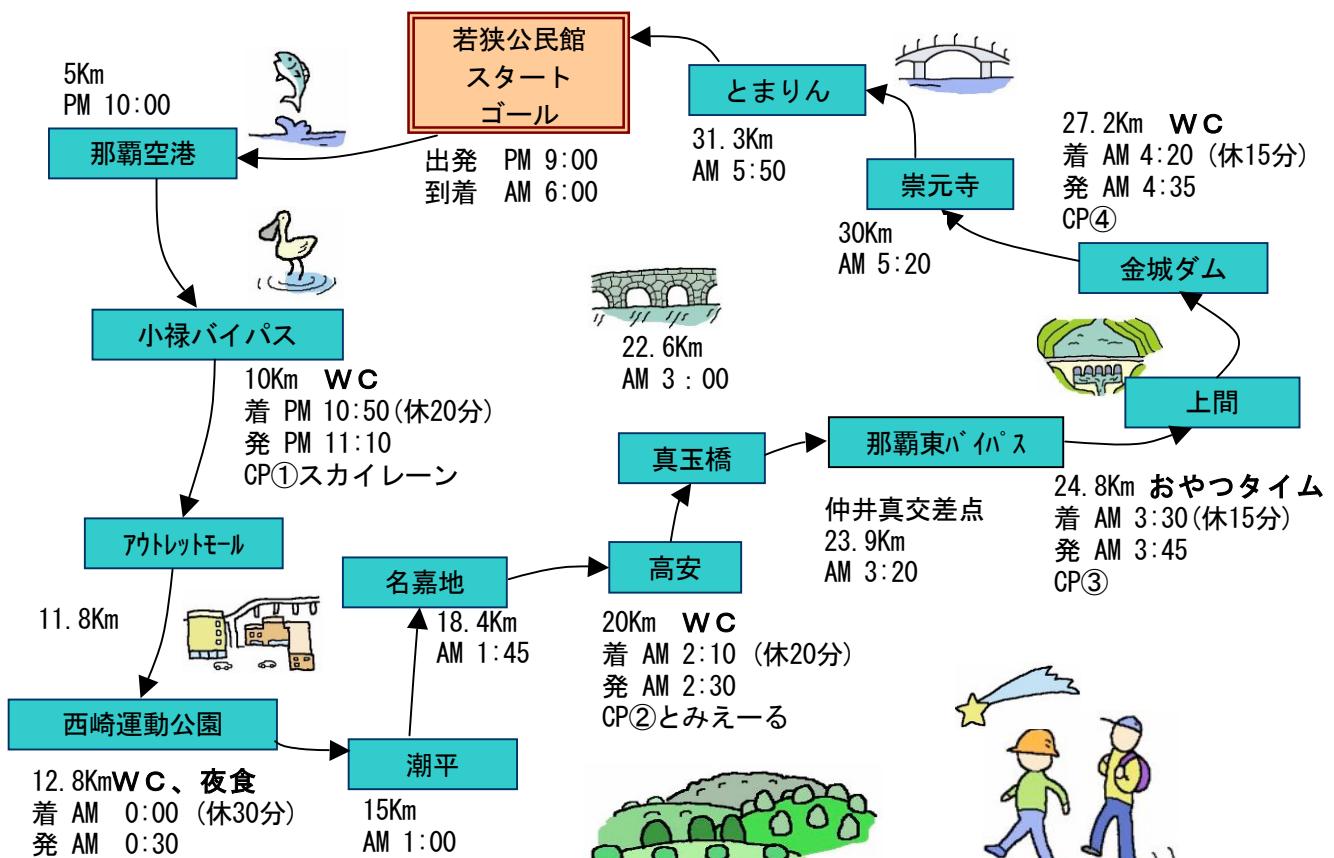
趣旨：中学生に対し、非日常的な体験の中でお互いを励まし助け合いながらゴールを目指すことにより、連帯感・達成感・充実感を共有し、困難に立ち向かい気力を培う機会を設け、地域青少年の健全育成を図ることを目的とする。

日時：平成24年3月17日（土）19:30集合～18日（日）7:30解散

対象：那覇中学校及び上山中学校の全生徒 募集人数：定員60名 参加人数：40名

参加費：1,000円（夜食代・朝食代・おやつ代・保険料その他） コース：32キロ

協力：（サポート一派遣）那覇市ウォーキング協会、（救護車および救護班人員派遣）医療法人陽心会、（トイレ借用）スカイレーン・糸満市西崎運動公園・朝まで屋・沖縄県金城ダム管理所



左：歩行中の様子、横断時はスタッフが安全指導 / 中：32kmを歩ききってゴール！ / 右：完歩証の授与

### （まとめ）

地域の方々、那覇市ウォーキング協会、他公民館職員の応援も得て、事故もなく終了した。今年度は、申し込み人数が例年より少なく、本来の狙いである卒業年度の3年生の参加が少なかったのが非常に残念だった。日程や広報を工夫し、より多くの3年生が参加できるようにしたいと思う。

参加者数が少ない分、手厚いスタッフ配置が可能となったが、それでも安全指導等が当初の予定通りにいかない場面もあった。さらに「もっと歩きたい」というスタッフの声もあり、これらも踏まえ次回に臨みたい。

## 〔2〕地域学習支援事業

### 若狭ちむどんどん太鼓「ひな祭りお茶会」

趣 旨：礼儀作法をわきまえることは、社会人にとって重要なことではあるが、近年礼儀作法をわきまえない若者が増加しているように思える。そこで、茶道の作法を学習することにより、こどもたちの礼儀作法及びおもてなしの心を育成する。

日 時：平成24年3月3日（土曜日）13：00～15：00

場 所：若狭公民館 和室

対 象：若狭ちむどんどん太鼓（若狭公民館利用団体）親子

受 講 料：無料（お茶菓子代として 150円）

参加人数：32名

講 師：山田 民子（茶道裏千家師範）

助 手：上地真吏菜（茶道裏千家師範の弟子）



#### (受講者の声)

- ・お茶会は、初めてだったので緊張したけど楽しかったです。
- ・とても楽しかったし、いい経験になったと思うのでよかったです。
- ・お茶会をして心の勉強になって、ひなまつり会に参加してよかったです。

#### (まとめ)

季節の行事を重んじ、ひなまつりを祝い、日本文化「茶道」を体験しました。  
子どもたちは、赤い絨毯の上、緊張した面持ちの中行儀よくお茶をたしなんでいました。初めて味わう抹茶の渋みに顔をしかめる様子も・・・  
茶道を通して、和の精神やおもてなしの心を学ぶいい体験になりました。

## シンポジウム「平等と自立を手に入れるために」

～シングルマザー母と子・女性の人権を知る～

趣 旨：シングルマザーの生き方を支援する実行委員会に講師を派遣し、女性の人権について考えるシンポジウムを開催することで問題の共有化を図る。

日 時：平成24年3月10日（土）13：30～16：30

場 所：沖縄県男女共同参画センター「ているる」3階研修室

主 催：シングルマザーの生き方を支援する実行委員会

共 催：しんぐるまざあず・ふおーらむ沖縄、那覇市若狭公民館

参 加 費：無料 参加者数：33人

内 容：「日本の貧困とシングルマザー」猿ヶ澤かなえ（フランス国立東洋言語文化研究所博士課程）  
「ネパールにおける女性の現状と自立への道」新垣誠（沖縄NGOセンター代表理事）  
「リンクする女性と子どもの人権」山城紀子（フリーライター）  
「非婚シングルマザーが抱える問題の共有化」秋吉晴子（しんぐるまざあず・ふおーらむ沖縄）



パネリスト（左から）：猿ヶ澤さん、新垣さん、山城さん、秋吉さん



シンポジウムの様子

（受講者の声）

- ・素晴らしいシンポジウムでした。4名のパネリストの異なる視点からのお話が重なりあって大変勉強になりました。今後もこのようなシンポジウムを開催してほしい。
- ・フランスの事例など国際比較があることでわかりやすかった。公的支援のあり方について、社会全体での議論が必要だと感じた。

（まとめ）

フランス在住の研究者、猿ヶ澤さんが調査のため来沖するタイミングに合わせてシンポジウムを開催した。若狭公民館は、共催として講師派遣を行ったほか、企画・運営を協力した。

シンポジウムでは、日本の母子家庭世帯の貧困状況を国際比較によって明らかにし、公的支援が現状に即していないことが指摘された。また、ネパールにおける女性の自立の取り組みやDV被害が多い沖縄の現状なども紹介され、人権意識の向上と社会的価値観を見直す必要性について話し合われた。シングルマザーが生活基盤を築きにくくことによる子どもの影響と非婚母子家庭世帯には寡婦控除が適用されない現状など説明を受け、シングルマザーの抱える問題は、当事者だけのものではなく、福祉政策や社会保障、人権意識とも関わってくることをあらためて感じた。

社会全体でこのような問題を共有し、ともに考える場をつくるのは公民館の使命だと感じる。今後も継続的に取り組んでいきたい。

## 7 公民館まつり

### 第20回若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館を利用し活動している団体（サークル）の日頃の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与える。また公民館まつりをとおし、団体（サークル）相互の連携を深める。若狭及び周辺地域を巻き込んだ「地域まつり」的な性格をもつまつりをしたい。

期 間：平成24年2月18日（土）、19日（日）、25日（土）

会 場：若狭公民館 参加人数：延べ3,910人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館、若狭図書館、NPO法人地域サポートわかさ

内 容	時 間	会 場	参加人員
親子でつくろうお菓子の家	18日（土）10:00～12:00	ホール	40
オープニング	18日（土）13:00～13:40	公民館前道路	150
バザー	18日（土）13:30～16:00	玄関	100
体験教室「社交ダンス」	18日（土）14:00～16:00	ホール	40
音楽演奏の夕べ	18日（土）18:00～20:00	ホール	260
展示発表	18日（土）10:00～17:00 19日（日）10:00～16:00	研修室	900
舞台発表	19日（日）11:00～16:00	ホール	1500
健康相談コーナー	19日（日）14:00～16:00	3階ロビー	70
出店コーナー	19日（日）11:00～15:00	玄関	500
喫茶コーナー	19日（日）11:00～16:00	2階ロビー	250
社交ダンスパーティー	25日（土）18:30～21:00	ホール	100



(まとめ)

第20回若狭公民館まつりは、若狭公民館利用団体協議会（47団体）が中心となって舞台発表、展示発表、運営などを行った。体験教室は「社交ダンス」を実施した。子どもから大人まで楽しめる内容で、体験教室をきっかけに社交ダンスパーティーに参加する方もいた。ホールでの舞台発表では、初参加の合唱団を含め盛り上がりを見せた。ただ、出演団体数が減少傾向にあり課題となる。

## 公民館まつり風景

